

Change! 宝塚

チェンジ

無所属(民主党推薦)



クリーンはあたりまえ
いっしょに取り戻そう宝塚の誇りを!!

プライド

宝塚生まれ 46才

じゅん いち

いとう 順一

マニフェスト 政策提言

いとう 順一

チェンジ Change! 宝塚

1. 不祥事の根を断つ! ~市民が誇りを取り戻すために~

- ①「(仮称)コンプライアンス条例」(口利き公開条例)の制定
 - 公益通報制度の充実
 - 第三者委員会「(仮称)コンプライアンス委員会」を設置
- ②市長の公務の透明化
 - 市長になった日から、当日の行動記録を全て詳細に公開
 - 市長交際費の全面公開
 - 市長室での市長との面談は担当者が必ず同席
- ③その他徹底した情報公開によって、全国情報公開ランキング日本一を目標

2. 市民力を結集 ~宝塚市民がつくる市民主体のまちづくり~

- ①地域に予算枠を設定
 - 地域の問題解決を住民の手で解決できる仕組みの構築
- ②市民活動を支えるために
 - 市民税の1%程度を地域で頑張る団体に助成
- ③市民の智慧を結集し、宝塚市政を再生
 - 「第5次総合計画」策定に幅広い市民の智慧を結集
 - シニアパワーをはじめ、広範な市民参加が可能な仕組みの構築
 - 「現場第一主義」で、まちづくりの現場で頑張る皆さんと、年50回以上の対話集会を開催

3. 宝塚の未来をデザイン! ~誇りある宝塚の未来のために~

- ①財政健全化を果たすため行財政改革
 - 市民参加によるあらゆる事業の総点検を、行革の切り札「事業仕分け」の実施によって実現
 - 破綻したアピア問題解決は、情報公開と市民の智慧を結集
 - 公会計制度改革等を実施し、市政に民間の発想を大胆に導入
- ②子どもたちの教育環境を充実
 - 学校耐震化を促進し、子どもたちが安心して通える学校づくりを推進
 - 校庭の芝生化を推進
 - 「子育てのしやすいまち、日本一」を目指して子育て環境を整備
 - 学習の中に「宝塚学」を取り入れ、子どもたちに“ふるさと意識”を醸成
 - 学力や情操教育の向上のため、学校図書館司書を試験的に配置
- ③人に優しい、安心・安全なまちづくりを推進
 - 子どもからお年寄りまで、障がいのある人もない人も、誰もがみんなで支えあうことが出来る「ユニバーサル社会」を推進
 - 介護予防を充実し、高齢者が元気に暮らし続けることができる地域社会の実現
 - 市立病院の医師不足確保等に最大限努力
 - 防災・防犯の視点を取り入れたまちづくりの推進
- ④未来の宝塚へ“誇り”の復活とブランドの再構築
 - 宝塚市民が誇る文化力を結集し、「文化芸術発信都市宝塚」を再構築
 - 新産業の誘致・創設で、宝塚市の産業活力を注入し、活気と賑わいを創出
 - 都市農業の拠点として西谷の発展を推進
 - 地域の緑化活動を支援し、「緑あふれる美しいまち宝塚」を実現
 - 市内の豊富な観光資源の連携で、他市や他国から訪れていただける「国際観光都市宝塚」の復権を推進
 - コミュニティビジネスなど社会企業家・NPOの育成・支援の推進
 - 国道176号線歌劇場前交差点・踏み切り渋滞解消策の検討

私も推薦します。 衆議院議員 市村 浩一郎

いとう 順一プロフィール

- 1962年(昭和37年)7月宝塚市生まれ 血液型O型
- めぐみ幼稚園、宝塚第一小学校、宝塚第一中学校、高司中学校(中学2年生時に新設のため転校)、兵庫県立宝塚高校、立命館大学経営学部卒
- 1984年 大阪国税局に国税専門官として採用 尼崎税務署所得税課配属
- 1987年 大阪国税局退職、家業の(有)阪神米油宝塚 入社、現同社代表取締役
- (社)宝塚青年会議所理事長、第2期阪神北地域教育推進委員第2小委員会委員長、第3期阪神北地域ビジョン委員会委員長、PTA会長、宝塚商工会議所議員、2001宝塚カウントダウン実行委員会事務局長、2002年宝塚夏フェスタ実行委員長、FM宝塚番組審議委員、自治会班長、まち協理事、宝塚音楽回廊実行委員、2006年宝塚市長選公開討論会を実現させる会事務局長、他多数のボランティア・社会奉仕活動を県議就任前18年に渡り歴任
- 2002年12月 兵庫県自治賞 受賞
- 2007年4月 兵庫県議会議員選挙 初挑戦トップ当選
- 座右の銘 忠恕知略(ちゅうじょりやく)
- 家族構成 妻・長男(新小6)・次男(新小3)・三男(新小1)の5人家族